

平成 28 年度石狩浜海浜植物保護センター事業計画（案）

1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト<はまなすフェスティバル実行委員会事業>

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
ハマナス再生地整備	5～10 月	センター隣接地(約 7 千㎡)でハマナス苗の移植等、再生を構想図に基づき進める。ハマナスを活用する企業等と連携することにより、再生作業を効率よく進める。	メインルート 300m 程度にウッドチップを敷設。場所によっては苗の根付が悪く、再生作業が遅れている。
はまなすサポーター	5～10 月	移植や除草作業は、年数回のイベントとあわせて、お茶会の企画や地元町内会と連携するなど、参加したくなる雰囲気づくりを試みる。また、学校等による環境学習での参加を促す。	サポーター活動日(6/11、7/9、9/10、10/24)を設定したが作業に参加する市民が少なかった。
はまなすフェスティバル	6 月中旬	とことんハマナスをテーマに、五感でハマナスにふれあう各ブースを展開。参画する市民を新たに実行委員として、地元商店や観光ガイドボランティア等との連携を目指す。	6/20(土)来場者数 570 人 ※平成 26 年度 480 人 平成 25 年度 350 人 来場者数は年々増加し、協力団体等も広がってきている。
フォトコンテスト	7/1～8/31	石狩海岸海辺の風景写真コンテストとして、写真を募集。優秀作品、応募作品の展示会を市内外で行う。	応募数 66 点 ※平成 26 年度 58 点 平成 25 年度 58 点 ※平成 27 年度は、保護センター、図書館、北コミ、南コミ、チカホ、環境プラザで展示会を開催。
はまなす広場	9 月下旬	石狩さけまつりと同時開催し、ハマナスの魅力を PR する。開催日を日曜日に設定するなどして、さらなる集客につなげる。	9/26(土)来場者数 380 人 ※平成 26 年度 29 人 平成 25 年度 30 人 さけまつりと同日開催したことで集客につながった。
はまなすセミナー	5 月～10 月	石狩の地域資源としてのハマナスの可能性を探るために、セミナーを開催する。石狩浜の環境保全につながる地域資源の活用について議論が求められる。	10/10(土)来場者数 43 人 「ハマナス香水の歴史とコスメへの活用」 ※平成 26 年度 31 人 ハマナスを活用したいという企業等が増えてきた。

2. 石狩海岸の保全と啓発に関する協働事業<いしかり海辺ファンクラブ協働事業>

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
海辺パトロールウォーク事業	5～11 月	親船地区南西の保護地区外約 1 km 海浜植生域でロープ柵の補修と、バギー車乗り入れ状況の現況把握に取り組む。	5/1、6/4、7/3、8/7、10/16、11/5 の計 6 回実施。結果を海岸管理者に提供し、保全策について協議。
石狩海岸カントリーコード配布	7・8 月	7～8 月のレジャー利用期に 2 回、「石狩海岸カントリーコード」を配布する。	7/25、8/8 の計 2 回実施。マナー向上のため継続的に開催することが必要。

3. 啓発事業

1) 施設における啓発・情報発信

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
企画展	4～11 月	月 1 回を目標に、テーマを設けて展示を行い、来館者に新鮮な情報を提供する。	4/28～石狩浜ごよみ 5/1～観察園だより 7/1～フォトコン 7/6～湿地帯の季節変化 他
子どもの学び支援	4～11 月	クラフトコーナーやクイズラリーなどにより、子どもが親しみ学びやすい施設にする。	7/25、7/26、8/1、8/2 夏休みミニ自然教室 計 93 人 他
海浜植物の種子配布	4～11 月	身近な花壇で海浜植物を育てて親しんでもらうため、また、センター来館の記念としてハマボウフウ、エゾカワラナデシコ、ハマナス等の種子を来館者へ配布する。	計 4,557 袋（7 種類）配布。 館者には好評を得ている。
自然教室等	4～10 月	市民（親子等）を対象に、石狩浜の自然に親しむ講座を開催する。 ※自然案内人、海辺ファンクラブと要検討。	夏休みミニ自然教室 7/25、7/26、8/1、8/2 計 93 人 草木染教室 8/6、8/13 計 19 人
外来種駆除体験（共催）	7 月	外来種が自然に与える影響を知ってもらうため、ミニレクチャーと駆除体験を行う。	セイヨウオオマルハナバチ駆除体験会 in 石狩（共催）7/11（土）参加者 19 人

2) 学校向け石狩浜学習支援

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
石狩浜学習プログラムの実施、更新	随時	石狩浜の自然と保全について学び、ふるさと石狩・郷土への愛着を育む。自然に関する環境教育の場とする。また、 <u>学習支援をサポートする人材育成も行う。</u>	これまでの石狩中学校、石狩小学校等での浜学習に加え、双葉小学校の長期にわたる ESD 環境教育プログラム（計 50 時間以上）が実施された。
出前講座・講話	随時		

3) 出前・出張・他施設による普及啓発

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
出前講座・講話	随時	団体等からの依頼に応じて、石狩浜の自然環境や保全について講話を行う。	石狩翔陽高校 3 回延べ 117 人、科学の祭典 200 人 他
企画講座（共催）	4～10 月	市民団体と共催し、石狩海岸や海浜植物への理解を深める講座を開催する。	いしかり海辺加チャートク 4/20、6/8、8/24、10/26 計 107 人 フットパスツアー 6/27、9/12 石狩浜ナイトウォーク 7/11

4) 情報発信

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
通信誌「はまぼうふう」	年 3 回	センターの活動や石狩浜の自然に関する情報を、誌面やインターネットで広く発信する。	年 3 回、各 500 部発行
ホームページ更新	月 2 回		随時

4. 保全対策・保全施策

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
海浜植物等保護地区監視・管理	4～10 月	河口地区・聚富地区、及び弁天、親船地区の監視。	4/10～10/31
親船地区の管理	4～11 月	植生保護柵の維持管理。	委託による管理
石狩浜環境保全連絡会議	随時	海岸保全区域の保全、その他海岸保全に関する協議。	平成 28 年 2 月頃予定

5. 調査研究・情報整理

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
自然情報の収集・整理・発信	4～11 月 ・ 冬季	植物開花状況、地形変化の状況・植生変化の状況等について、市民ボランティアの協力により調査、情報収集するとともに、情報を整理し、ホームページや各種印刷物等で発信する。	ブログ「石狩浜観察日記」により情報発信（計 42 回）

6. 事業連携

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
石狩市社会教育施設連携事業（いしかり館ネットワーク）	随時	市内社会教育施設 4 館の連携により、各館利用者のアップや事業の効率化を図る。	夏の体験情報チラシを作成し、市内小学校に配布。10/3（土）に紀伊国屋書店にてウミベオロジー石狩海辺学 2015 を開催。
石狩湾自然史ネットワーク CISE ネットワーク	随時	事業共催による相乗 PR 石狩湾海辺マスター（スタンブラリー）の実施	CISE ネットサイエンスターリングとしてスタンブラリーに参加。 1/23・1/24 開催のチカホ CISE ネットサイエンスフェスティバルに参加。

7. 環境整備

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
はまなすの丘景観保全	4, 10 月	石狩灯台周辺のボランティアによる外来植物除去作業の実施。	4/25 150 人参加 10/24 30 人参加
センター観察園の維持管理	4～11 月	観察園への植物の移植及び移植苗の育成、外来種除去、クイズラリー看板の設置等。 破損木道の修繕	随時
センター外の観察場、散策の管理	5～11 月	はまなすの丘公園内散策誘導路、親船名無沼観察場等の管理。	ふるさと自然塾による看板の設置。

8. 地域ネットワーク事業

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
ふるさと海辺フォーラム （ハマボウフウネットワーク）	5～10 月 参加団体と調整	海辺環境、海浜植物保全を全国へアピール。他地域の活動事例を学び、石狩の活動を発信するとともに海辺の保全活動に関わる団体との情報交流を通じて、海辺の保全活動を円滑に進める。	8/18～8/19 浜松にて開催 参加団体は海辺ファンクブ、海浜植物保護センター他 5 団体

北の里浜 花のかけはし ネットワーク事業	随時	東北被災地海岸の海浜植生再生に係る市民活動支援	交流事業（苗づくり） 石狩中学校 2 年 27 人 5/22、7/10、8/17 交流事業（東北で移植） 石狩中学校 3 年 4 人 7/25、7/26
-------------------------	----	-------------------------	---

9. 人材育成

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
石狩浜自然案内人養成講座	6～10 月	石狩浜の自然ガイドを行ったり、自然体験プログラムを運営する人材を養成する。	平成 27 年度は実績なし。

10. ボランティア支援

事業名	時期	内容	平成 27 年度の実績と評価
ボランティア活動支援	随時	センター事務室等の使用、情報提供等による活動支援。	延べ 421 人

11. センター施設維持管理

築 17 年を迎えるため、破損等の発生に応じて適宜修繕等実施。

12. センター運営に係る市民活力導入の検討

平成 29 年度からの民間委託に向けて、市民団体と協議。